

日本海地震・津波調査プロジェクト

(2-4) 陸域活構造調査

東京大学地震研究所

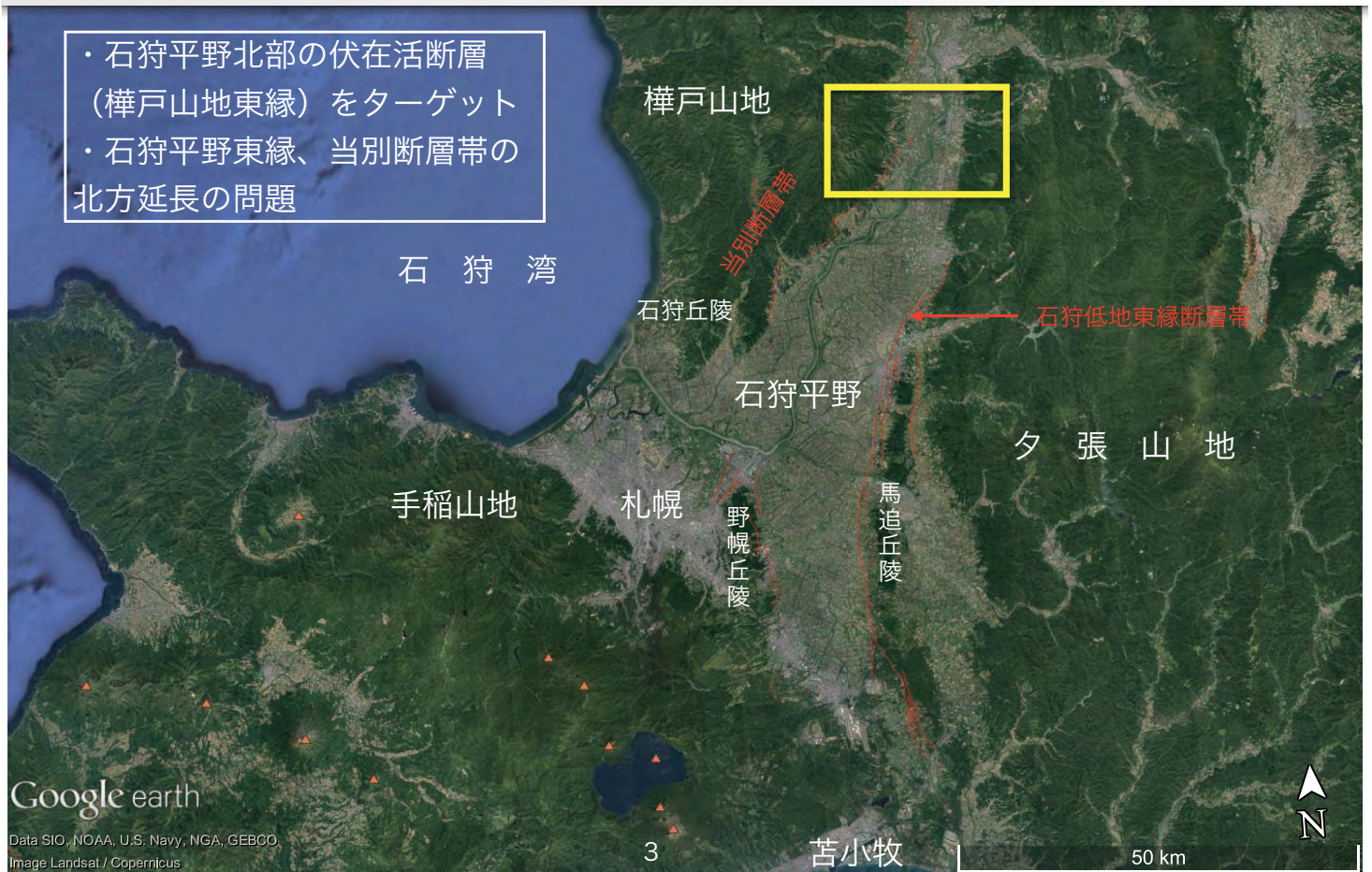
1

(2-4) 陸域活構造調査 H30年度 業務計画

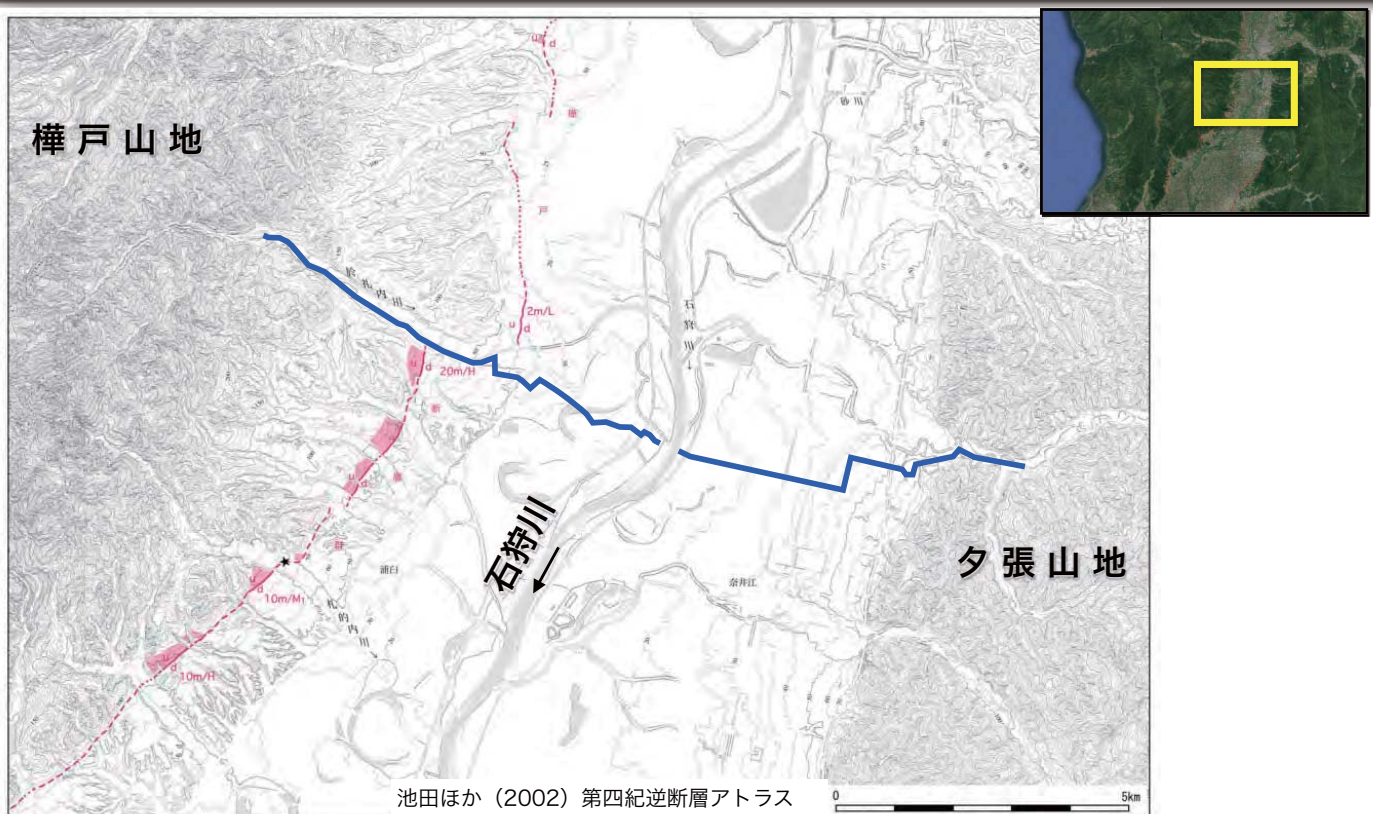
平成30年度実施の海陸統合測線および沿岸調査海域周辺の陸域部である北海道中南部日本海沿岸地域の主要活構造について、調査地域の活断層の活動性や浅部形状を明らかにするために、変動地形や浅層反射法地震探査などの活構造調査を実施し、変動地形・構造地質学的な解析を行う。

H30年度 陸域活構造の調査

- ・石狩平野北部の伏在活断層（樺戸山地東縁）をターゲット
- ・石狩平野東縁、当別断層帯の北方延長の問題



樺戸山地東縁・夕張山地西縁の活構造の地下構造



北海道空知郡奈井江町東奈井江を起点として、石狩川を横断し、樺戸郡浦臼町黄白内を経由し同於札内に至る約14.5km区間

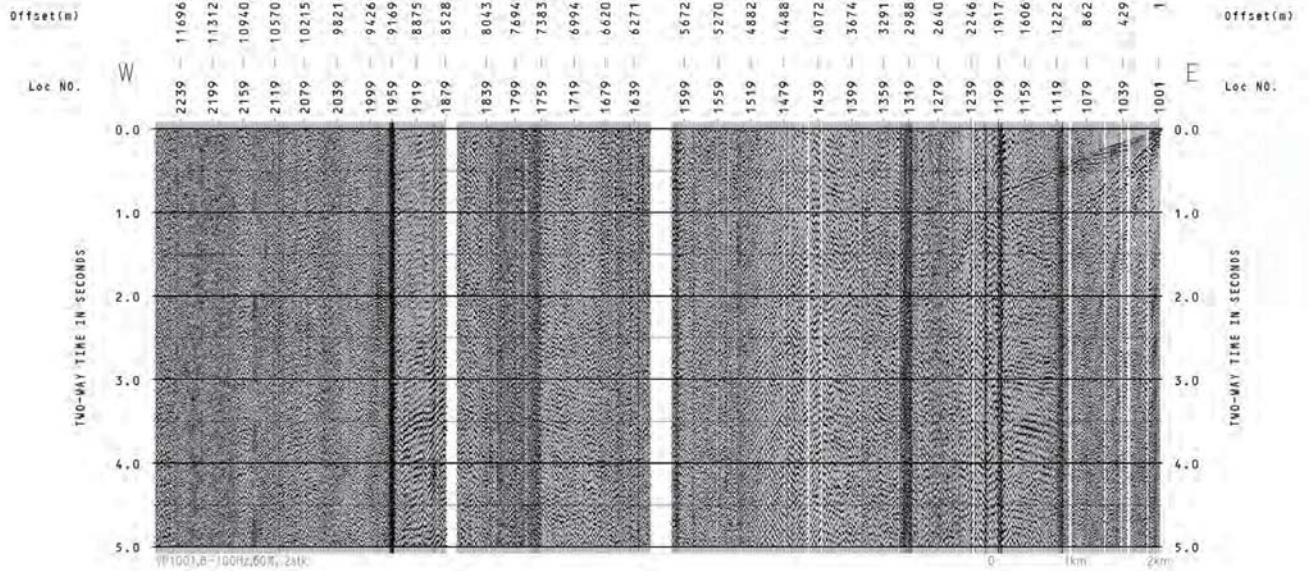
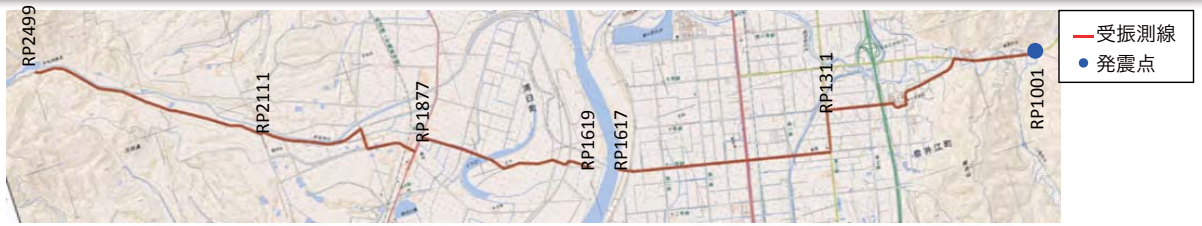
浦臼一奈井江測線の探査仕様

	Urausu-Naie Line
Survey length	14.5 km
Seismic source	Vibroseis truck (Hemi-50; IVI)
Shot interval	10 m
Sweep length	16 sec
Number of sweeps per shot points	2~4 times
Sweep frequency	8~100 Hz
Total number of shots	1286
Receiver Interval	20 m
Seismometer	SM-24 10Hz / GS-One 10Hz
Total number of receivers	725 (fixed)
Recorders	GSR-ONE (Geospace)
Sampling rate	2 msec
Record length	5 sec

観測風景

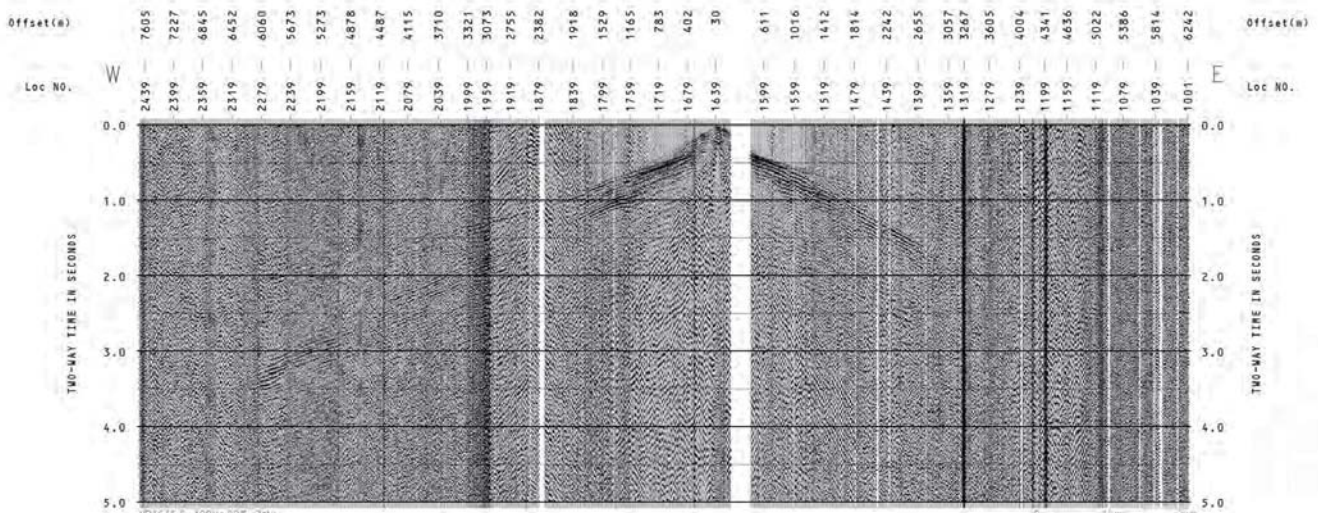
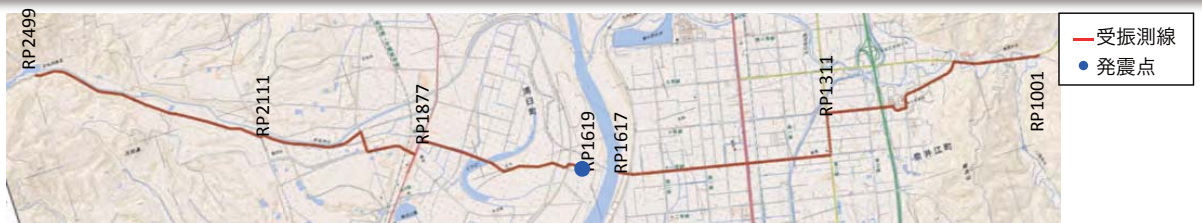


反射法発震記録 VP1001 (stack2)



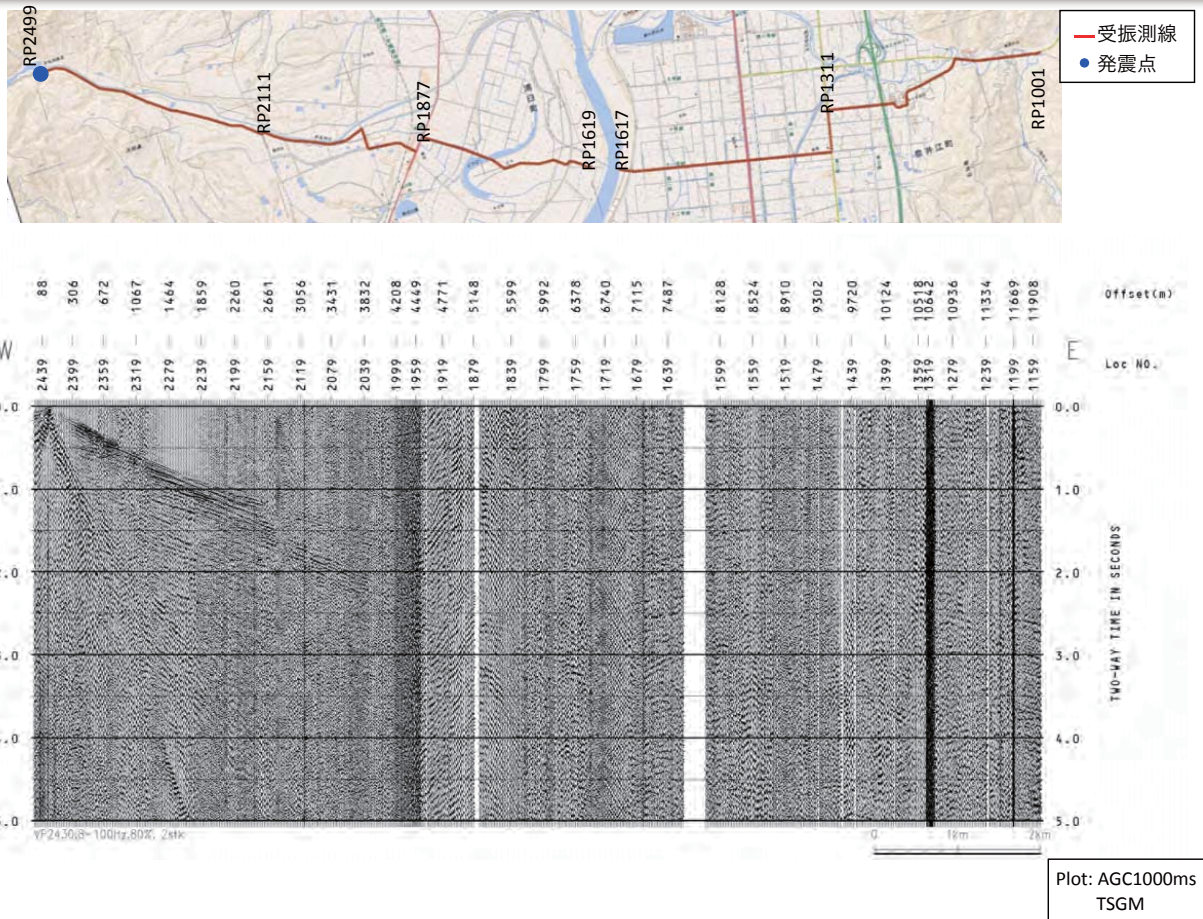
Plot: AGC1000ms
TSGM

反射法発震記録 VP1636 (stack2)

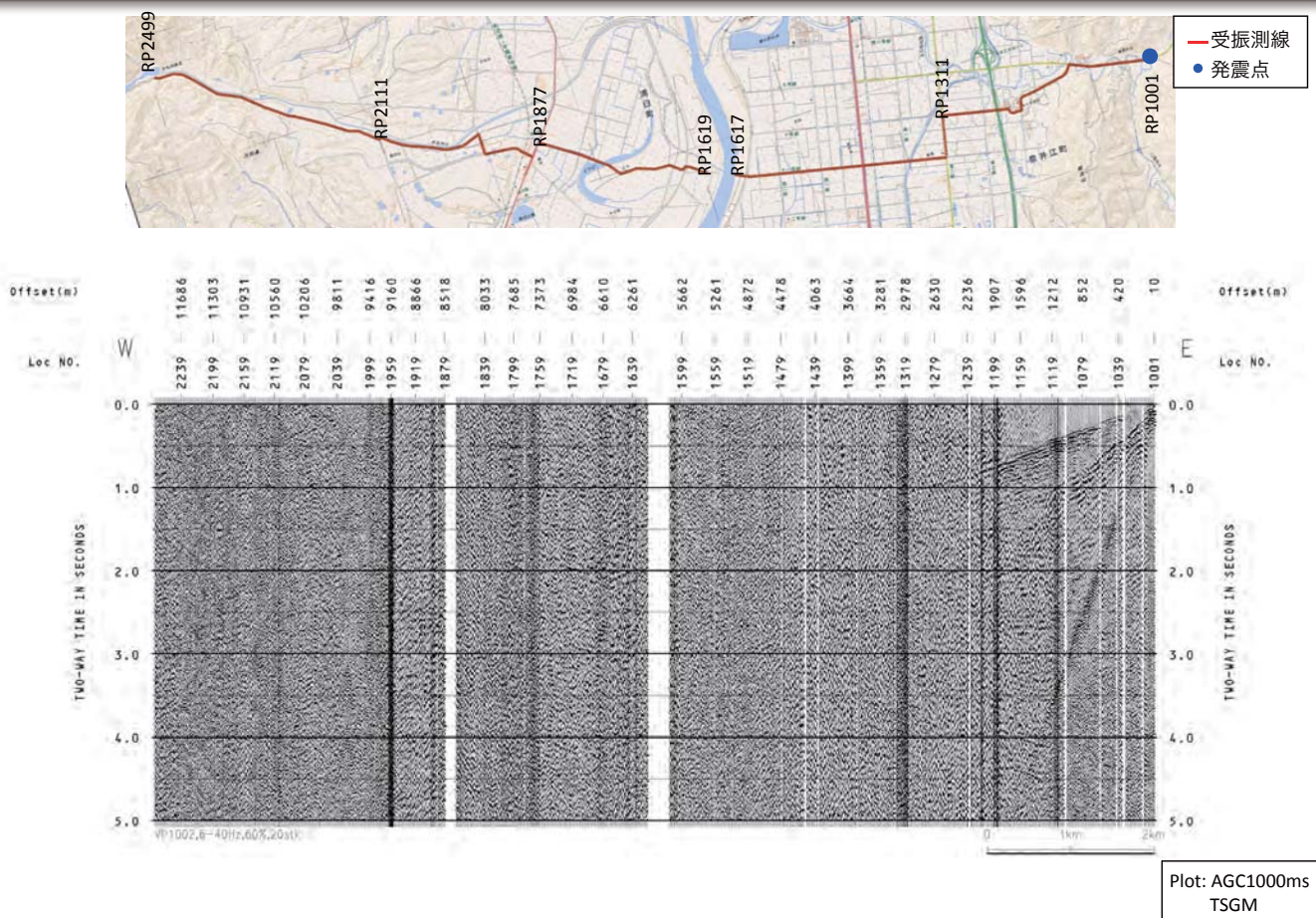


Plot: AGC1000ms
TSGM

反射法発震記録 VP2430 (stack2)



屈折法発震記録 VP1002 (stack20)



(2-4) 陸域活構造調査 H30年度 業務計画

平成30年度実施の海陸統合測線および沿岸調査海域周辺の陸域部である北海道中南部日本海沿岸地域の主要活構造について、調査地域の活断層の活動性や浅部形状を明らかにするために、変動地形や浅層反射法地震探査などの活構造調査を実施し、変動地形・構造地質学的な解析を行う。

今後反射法データ解析を進めて、石狩平野北部・樺戸山地～夕張山地の活構造について検討を進める